



濃いピンク色で日持ちが良いスプレーカーネーション新品種 「カーネフジ愛農1号」を開発

－新品種でシェア拡大を目指します－

開発の背景・ニーズ

愛知県のカーネーション切り花生産量は、全国2位を誇っています。しかし、販売されるカーネーション切り花のおよそ6割が輸入生産物であるため、産地からは海外品種との差別化が図れる品種の開発が求められています。そこで、生産性が高く、日持ちの良さなど消費者ニーズに合った品種の開発に取り組みました。

成果の内容

「カーネフジ愛農1号」は、国立研究開発法人農業・食品産業技術研究総合機構（以下「農研機構」という。）が共同育成した薄いピンクのスプレーカーネーション「カーネアイノウ1号」から発見された濃いピンク色の枝変わりをもとに、選抜、育成した品種です。この品種の特徴は、①花の日持ちが良い、②秋期から茎が硬い高品質な切り花が収穫できる、③早くから収穫でき収量が多い、④花卉は鮮やかな濃いピンク色である、などです。

これらの特徴から、ブライダルや仏花など多様な需要に柔軟に対応できる品種です。



スプレーカーネーション
「カーネフジ愛農1号」の切り花



花の日持ち性の比較（開始8日目）

栽培特性試験における調査結果

品種名	開花 開始日 (月/日)	収量		花の 日持ち (日)
		年内 (本/株)	一作期 (本/株)	
カーネフジ愛農1号	10/7	2.0	6.1	14.5
チカス	11/30	0.8	5.1	7.8
カーネアイノウ1号	10/16	2.0	6.0	17.7

愛知県農業への貢献

本品種は、早くから収穫できるため収量が多く、茎が軟弱になりやすい秋期から茎が硬い高品質な切り花が収穫できることから、本県のカーネーション生産に大きく貢献することが期待されます。

2021年作には5万本、2025年作に50万本の出荷を目指します。

(2021年5月 品種登録出願)

【この品種は、イノチオ・フジプランツ株式会社、農研機構と共同で開発しました。】